

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	このこのリーフ滝野川第1		
○保護者評価実施期間	2024年 11月 12日		～ 2024年 11月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	42	(回答者数) 29
○従業者評価実施期間	2024年 11月 12日		～ 2024年 11月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 12
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 21日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者との連携	電話、連絡帳ツール、帰りの送迎での申し送りなど、コミュニケーションの機会を増やしている。	定期面談を丁寧に行い、なるべく面談の回数を増やしていく。
2	職員の専門性と配置	適切な職員配置や専門性を持つ職員を確保している。	より細かな支援ができるよう、会議や研修を通して児童への理解を深め、引き続き専門性の向上を目指していく。また第1、第2で専門職が配置されているため、様々な専門分野での療育ができるようお互いのプログラムを共有していく。
3	支援計画の共有と実行	職員間で支援計画を共有し、計画を実行している。	支援計画共有の効率化を目指していく。保護者様や学校の先生、スタッフ間で情報を共有し、その内容をより詳細な記録として残していくことで次回の支援に役立てる。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域住民との連携や関わり方	地域住民との交流機会が少ない現状がある。外出時の安全が確保できれば参加するようにしている。	地域の行事や活動に積極的に参加し、地域住民と直接触れ合うことで、放課後等デイサービスや障がいをもった児童への理解を深めてもらう。
2			
3			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	このこのリーフ滝野川第1		公表日		2025年 1月 21日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	11	1	・支援内容に応じて、スペースを区切るなどの工夫をしている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10	2	・利用者に配慮できる人数の配置をしている。	・職員の配置数がやや足りない日があると感じる。 ・土曜日に職員が少ないと外出等のイベントが難しい。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10	2	・トイレや療育スペースに手すりを設置している。	・物を置く場所など改善が必要な部分が残っている。 ・トイレの段差がある。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	12	0	・毎日、換気・消毒・清掃を行っている。	・エアコンの定期メンテナンスが必要。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	12	0	・相談室を救護室としても利用している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9	3	・毎日社員ミーティングを行い、申し送りですべてのスタッフに情報共有を行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12	0	・保護者向け評価表を活用している。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	1	・毎日ミーティングを行い、意見交換の場を設けている。	・機会はあるが、参加者が少ない。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8	4		・第三者委員会を設けていない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	11	1	・研修への参加は積極的に行っている。研修参加後は、研修参加職員による伝達研修を行い、情報共有をしている。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	11	1		・1月に公表予定 (※1/25現在、公表済み)
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	12	0	・面談や送迎時等に保護者から話を伺っている。また、学校の先生にも話を伺い、それらをもとに作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	12	0	・ミーティング等で情報共有や検討を行っている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10	2	・個別支援計画を職員全員で確認できるように設置している。	・保護者からの情報など共有できていない部分がある。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	3	・個人記録を確認しながら支援方法を検討し、実践している。	・ツールは使用していない。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	12	0	・「5領域」に対して具体的な目標を設定し作成を行っている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	11	1	・利用者の特性に合わせて、活動プログラム立案を全スタッフ間で行っている。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	12	0	・個別グループに分けて活動プログラムを立案している。	・工夫したプログラムを個々に応じて行っている。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	12	0	・個別活動、集団活動を必要に応じて組み合わせで行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	11	1	・支援開始前にミーティングを行っているが、祝日や土曜日など、十分な時間が取れない場合は、個別に支援内容や役割分担を適宜伝えている。	・休日、土曜日はできていない日がある。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	3	・支援終了後にその日起きたことを職員間で共有している。	・社員は行っていると思うが、パート社員には共有されていない部分もある。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	12	0	・支援に対する記録を毎日取り、支援の反省をその日に行っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	12	0	・半年ごとにモニタリングを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	11	1	・総則に則り、支援を行っている。	・「4つの基本活動」が何か周知できていない。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	12	0	・本人の意思を尊重し支援を行っている。必要に応じて選択肢を用意し、自己決定をしやすい支援を行っている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	11	1	・関係機関との会議では、誰が出席するか話し合い、参画している。	・担当者会議がない。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10	2	・利用者の主治医情報や事業所の連携医療機関を整えている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	12	0	・月に一度、学校で会議を行い情報を共有している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	5		・他事業所との交流や情報共有を心掛ける。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8	4		・機会があれば、情報を提供できるよう工夫していく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7	5		・今後積極的に研修や助言を受ける機会を設けていきたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6	6		・地域の他の子どもとの関わりを増やしていきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	8	4		・案内がない。 ・協議会等への参加は現状していないが、必要に応じて協議会等への参加をしていきたい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	12	0	・送迎時の申し送りや連絡帳ツールを用いて子どもの状況を伝えている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	4		・家族支援プログラムや家族等の参加できる研修への参加は現状していないが、必要に応じて参加していきたい。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	12	0	・利用開始前に説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	12	0	・面談やモニタリング等を行い、意見を踏まえた上で作成している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	12	0	・面談時に「放課後等デイサービス計画」の確認を一緒にを行い、同意を得ている。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	12	0	・専門性を有する職員が助言を行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	7	5		・現状、保護者会を開催する日程を組みづらいが、開催できるよう検討していく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	12	0	・苦情があった場合は迅速に対応し、改善策を考えている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	12	0	・会報を発行している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	12	0	・鍵付き書庫やシュレッダーを使用し、管理している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	12	0	・障害のあるこどもには視覚支援ツールやマカトンサインを活用し、保護者には送迎時の申し送りや定期的な会報を通して意思疎通や情報伝達を行っている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	7	・季節のイベント時に近隣の企業へ協力をしている。また、消防署等に見学し交流をしている。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	11	1	・マニュアルを策定し、契約時に資料や口頭による説明を行っている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	11	1	・業務継続計画（BCP）を策定し、定期的に避難訓練を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	12	0	・事業所見学の際に服薬状況や発作の有無を確認している。利用が確定したら、発作時の対応を保護者へ確認を行っている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10	2		・指示書はなく、保護者からの申し出に対応している。 ・アレルギーなどの注意は共有されているが、医師の指示書に基づいているか不明である。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	12	0	・安全計画を作成している。また定期的に避難訓練や内部研修を行い意識を高めている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10	2	・契約時に資料や口頭による説明を行っている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	11	1	・詳細を共有している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	11	1	・詳細を共有している。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	10	2		・対象者がいない。 ・個別支援計画には記載していない。	